

## 第33回 ナーシング・キャリアカフェ in 沖縄 報告書

- I. 日 時： 2016年7月9日（土曜日） 10:00～12:00
- II. 場 所： ムーンテラス東崎（沖縄サテライト）
- III. テーマ： 「看護職を知ろう！様々な場所で働く看護職者からのメッセージ」
- IV. 講 師： 山川将人（ケアプロ訪問看護ステーション東京 中野本店前所  
現 株式会社ゆいんちゅ代表取締役）  
宮里美沙子（宜野座村保健師）  
奥間美香（N高等学校 養護教諭）
- V. 参加者： 計19名  
学部生： 14名（琉球大学4名 県立看護大学10名）  
教職員： 5名（琉球大学1名 県立看護大学4名）
- VI. 担当校： 県立看護大学
- VII. プログラム：

時間	内容
10:00～	開会
10:10～10:40	講師紹介 事前質疑応答
10:45～11:45	カフェタイム (1ブース15分/回×4)
11:50～	アンケート記入及び提出
12:00	写真撮影

### VIII. 事前準備

ナーシング・キャリアカフェの企画・運営に携わる学生より、5月に実施したアンケート意見よりテーマを選出してもらった。看護師・保健師・養護教諭・助産師から話を聞く場にしようと、卒業生で経験のある方を選定した。NCC担当教員と学生でポスター制作・広報・当日運営を行った。

### IX. 目的と方法

講師の体験談をもとに、各職種の具体的なイメージができ、将来の看護師像を描くことを目的とした。

はじめに、進行係の学生より講師紹介があった。講師は自己紹介とともに現在の仕事内容を話し、事前質問に答えた。その後、3つのブースに分かれ、15分ごとに合図をし、参加者が各ブースごとに直接質問し、アドバイスや体験談を聞く時間とした。3テーブルを回った後、もう1度聞きたい講師のテーブルにつく時間を15分とり、その後アンケート時間を設けた。

最後に参加者全員で写真撮影を行った。キャリアカフェ終了後には、学生メンバー同士で振り返りの場を設けた。



## X. 内容

山川氏は、パワーポイントを用いながら自己紹介を行った。本学卒業後、神奈川の総合病院に就職され、外科病棟を経験、在宅支援員として努め、その後、東京の訪問看護ステーションで経験を積まれた。今年5月に沖縄に戻り、「株式会社ゆいんちゅ」を立ち上げ、現在に至っている。学生の「新卒でなければ訪問看護はできないの?」という質問に、「新卒と10年クラスの看護師とは視点は違っても、最終的にやっていることは同じと思う。在宅を知ってから病院に転職するのも、逆に家を知っているという自分の強みになる。」と答えられていた。



奥間氏は、N 高校の養護教諭で、事前質問の「大学生の頃に何かしていた活動はあったか? 養護教諭1種と2種に違いはあるか?」に対し、「現場をみることはしていた。2種でも現場にいる人は多い。余裕があれば1種を目指してみても」と現状と踏まえ答えられていた。現場の声として「養護教諭は各学校に1人しかおらず直属の上司は教頭、校長先生になる。いかに先生達と連携しながら全校生徒をみるかが鍵」と、コミュニケーションの大切さも伝えられていた。

宮里氏は、現在は村役場で正職員として保健師を務めている。学生からの「試験に向けて、臨時として働きながらか、勉強に専念した方が良いか?」の質問に、「公務員と言っても、上級や専門と分かれている。学生の勉強に専念できるときにできれば良いが、社会人として実践経験がある人が欲しいのも現場の声であり、保健師になりたいその気持ちが大切」と現場の声を交えて答えていた。



## XI. まとめ

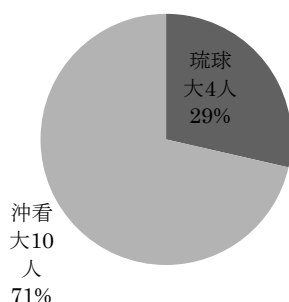
今回の講師は、普段直接話を聞く機会のない、看護師・保健師・養護教諭であり、参加した学生から、「実際に生の声が聞けて良かった」との声が聞かれた。現場を具体的にイメージできたことで、将来像への動機付け、目的意識の向上につながったと考えられる。また、「3つの小ブースで質問しやすい環境で良かった」との声も多かった。学生が抱いていた疑問を、当事者へ直接尋ねることで、多様な進路を実感する場となり、卒業までにすべきことを明確化できたと考えられる。

今回、ゲスト講師が複数のため、事前に質問を出してもらうを試みた。それでも、質疑応答の時間配分にも長短があり、事後アンケートに講師への質問が追加されていたことから、小ブースの運営方法にも、さらなる工夫が必要と考えられる。

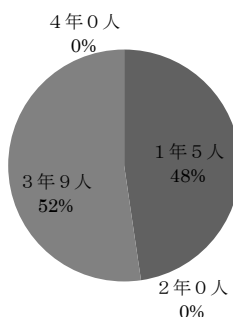


## XII. アンケート結果

問1) 参加者の属性

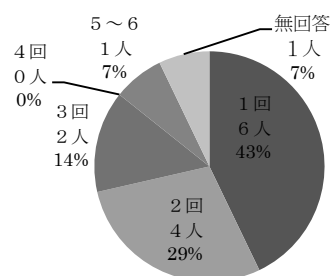


【所属大学】

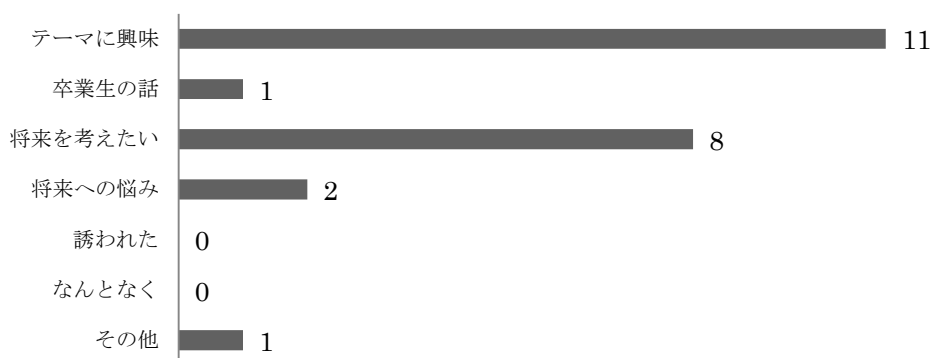


【学年】

問2) 参加は何回目ですか。

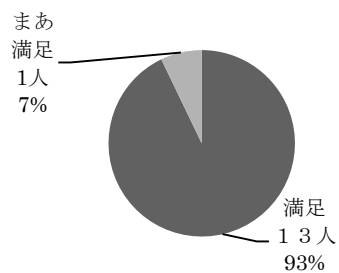


問3) 参加の動機を教えてください。(複数回答)

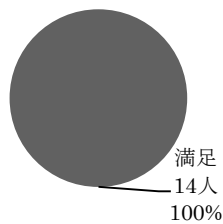


問4) 今回のナーシング・キャリアカフェの満足度を教えてください。

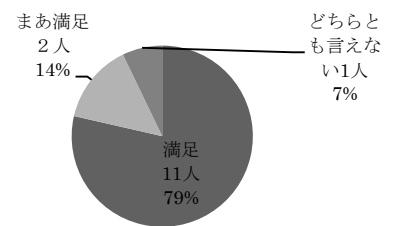
### 【内容】



### 【開催日時】

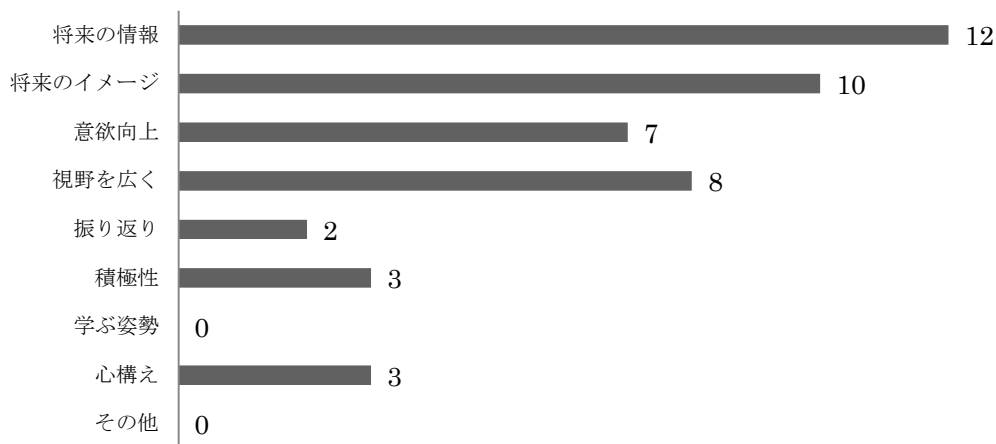


### 【時間配分】



- ・初めて実際に保健師の話が聞けて良かった
- ・もっとゆっくり話が聞けても良かった
- ・参加しやすい時間帯だった
- ・1つの質問に対しての返答が盛りだくさんで足りなかった

### 問5) 今回の講師の話聞いて、感じたこと・学んだこと (複数回答)



### 問6) あなたが理想とする看護職者のイメージについて具体的に書いてください。

- ・小児から高齢者まで幅広くみれて、疾患だけでなく「個人」として尊重してケアを提供する人
- ・自分の専門に関わる新しい知識を常に吸収しようと努めている
- ・客観的に考えることができる
- ・仕事に楽しみが見いだせる看護職 (今日お話しを聞いて、この考え方がとても心に残りました。)
- ・他職種と連携ができる看護師
- ・広い視野を持って、地域を意識して1人1人の健康と生活に寄り添える人
- ・専門職だというオーラを出し過ぎないで、患者さんや地域の方に近い距離感で接することができる存在

### 問7) 今回のナーシング・キャリアカフェの感想を自由に書いてください。

- ・養護教諭と関われる機会はめったにないので実際に生を聞けて良かった。これからの勉強のやる気につながりそうです。
- ・グループを作って、自分がしたい質問を沢山聞くことができたので勉強になりました。

- ・初めて参加しましたが、自分の将来について考えることができ、また参加したいなと思いました。
- ・勉強法や試験など具体的なことも聞くことができた。
- ・将来の看護師像がより広くなった。興味ある「在宅」のことが沢山聞いて良かった。
- ・3つの島に分かれて、質問しやすい環境だったのが良かった。
- ・初めて保健師・養護教諭の方のお話を聞くことができ、ネット上や資料での情報以外のことが分かって非常に良かった。
- ・保健師や看護師としてどう働きたいか、しっかりと考えを持つべきだと痛感した。

(質問)

→保健師 (宮里さん)

- ・在学中に保健師を考えたとのことでしたが、どのようなきっかけがあったのか知りたいです。
- ・面接・小論文などの対策も行ってたのですか？行ってたのであれば、具体的にどのような対策を行っていましたか？

→看護師 (山川さん)

- ・起業するにあたって、ケアプロ株式会社で働く以外にどのようなことをしましたか？  
(どのような職種、企業とつながりを持ちましたか？)